

## 12/15 課題研究発表会



### ゲストの声

「身近な家族の生活の困りごとから、課題を設定し、いろんな人に話を聞きながら、発展して取り組んでいたのがとてもよかったです」

「自分の思い込みではなく、アンケートなど現状をデータとしてとって進めているのが素晴らしいです。」

「個別探究でありながら、自分ひとりで進めおらず、多くの人と関わりながら、自分の足を使い、汗をかいて進めるその姿勢こそ、社会人になって生きてくると思います」

「やらされ感ではなく、やりたいことを思い切りやっているなど感じられた。在校生のみなさんも、先輩の姿を参考にチャレンジしてほしい」

### お世話になった地域の皆様 (敬称略、五十音順)

麻生 翼 伊林賢二 宇佐美千鶴子  
遠藤亜由美 遠藤智康 大西崇王  
尾藤剛弘 川島里美 斎藤千香子  
嶋崎亜侑香 清水瞳 清水元記  
白木薫 杉田鈴子 杉之下真由美  
瀬川聖子 高橋風宇太 高橋水哉  
竹本礼子 田中由紀子 田邊真理恵  
津志田大 長尾 綾 奈須憲一郎  
平間美海 藤原佑輔 三浦玄太  
三津橋英実 森 和枝 矢内啓太  
吉岡芽衣 アポロ 美花夢  
矢内菓子舗

### 「廃材でつみきを作ろう」 井川ひなた



子どもが好き、廃材を有効活用したい思いから、廃材でつみきを作成。下川町で行う百日の祝いの際に、下川の材木でつくったお食い初めセットと一緒にプレゼントを予定しています。

### 「認知症を予防しよう」 高屋鋪始禾



高齢化率の高い下川町、大切な思い出をおぼえてほしいと、認知症予防に関するミニ講座とレクリエーションを開催。釣りゲームや風船バトミントンなど盛り上がりました。

### 「スマホ相談会を開く」 沼田悠吾



祖母によくスマホ操作を聞かれることに着目、スマホ相談会を開催した。迷惑メールへの対応やLINEの使い方様々な相談が寄せられ、スマホ操作に困っている人の多さを実感した。

### 「SDGsの情報発信 ～イラストを通じて～」 高原桃夏



子どもたちがSDGsについて考えるきっかけづくりがしたいと、「アースくん」を作成しました。

詳細は、下川町  
公式NOTEへ



# 共 育 に ゆ ー す



## 高校3年 課題研究

自分の好きなこと、得意を活かし、地域に貢献できるプロジェクトを、個人探究を通じて実行してきました。

最終発表会では、予選を通過した10人が発表、町長、議長、教育長、教育委員や学校運営協議会委員をはじめ、お世話になったゲストや在校生が耳を傾けました。



### 「下川の木を使って文房具を作る」 林 貴太



木の文房具の良さを広めたいと、下川の木を廃材を使って、定規を作成。カットレジンを使い、山並みのデザインを施しました。6本作成し販売しました。

### 「ケータのケータリングさんと コラボお弁当の作成・販売」 河野冬華



高校購買での種類を増やしたいと、お弁当の販売を考え、ケータのケータリングさん協力のもと、オリジナル弁当をつくり販売しました。

### 「僕の課題研究」 山岡祥大



中学生向けの簿記講座、地域企業の経営の話聞く、中高生の学習スペース開設の3つを企画、企業へのヒヤリングと、11/16-17コモレピで学習スペースを開設しました。

### 「必要とされる保育者になるために」 佐藤海希



自分の保育士像を確立したいと、お母さんたちのお話合い、子育て世代なんでも屋を行いました。子育ての大変さを体感し、求められる保育士像が見えてきました。

### 「廃材を使って作品づくりがしたい」 野々下羽美



ごみの分別が細かく、リサイクル率50%以上の下川町。リサイクル素材で子どもたちと楽しく工作ができたらと、空き瓶を回収し小学生向けのスノードーム工作を行いました。

### 「廃材で作ったシェイカー」 小池菜月



木の廃材で入れ物をつくり、米、大豆、トウモロコンなどを入れて、振って音を鳴らす楽器を作成しました。吹奏楽部の演奏などで活用します。